

緩和ケア通信

2022年7月14日 緩和ケアセンター発行 Vol.4

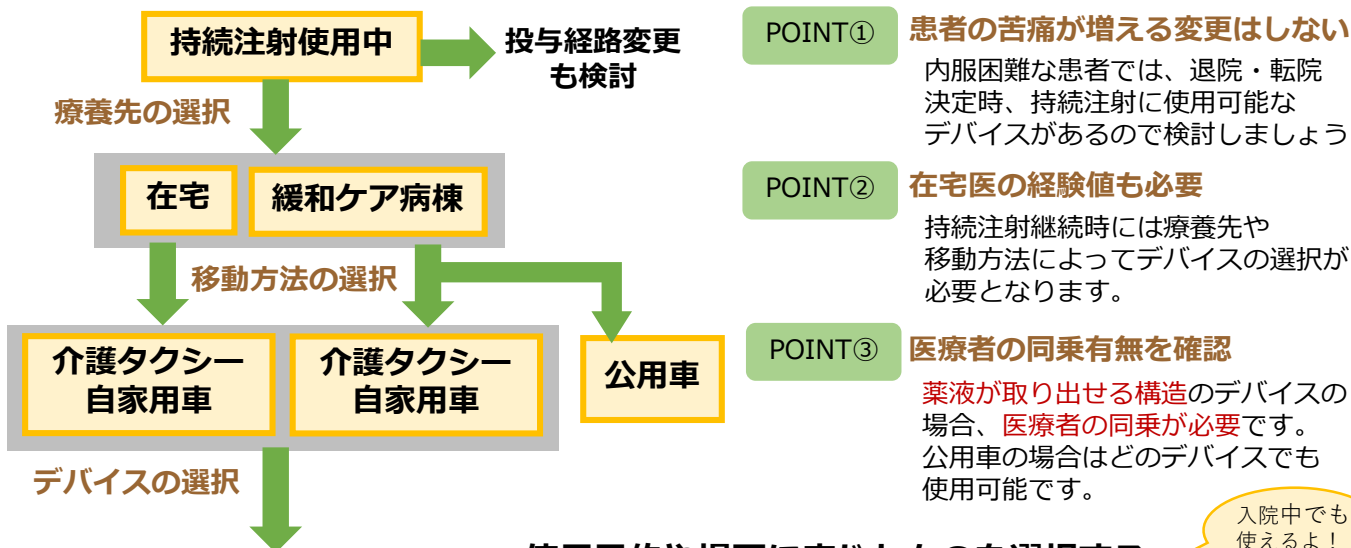


緩和ケアセンターHP
QRコード

「症状緩和のためのスキル」(緩和ケアマニュアル：p.144)をご紹介します






1 痛み止め使用中の患者が転院・退院するときに良い方法があります！



入院中でも使えるよ！

2 精密持続点滴用の機器：使用目的や場面に応じたものを選択する 機器によってメリット・デメリットがある

- POINT④
- ◆採用薬は病院ごとに異なる・薬局の在庫有無の確認も必要
 - ◆機器のレンタルや準備に時間を要することがある
 - ◆患者に慣れてもらうため、転院・退院前の入院中から切替えた方が良い場合がある

種類	特徴	保管場所
テルフュージョン シリンジポンプ (薬液が取り出せる構造)	 院内で汎用しているシリンジポンプ 転院時は 医療者同乗の場合のみ使用可	ME室
テルモ小型シリンジポンプ (薬液が取り出せない構造)	 PCA機能付きバッテリー内蔵(電源使用可)、 小型携帯用、ロックガードあり 12mL以下の液量に対応している。 在宅使用する場合は 在宅事業所側でレンタル。	ME室
CADD Legacy (薬液が取り出せない構造)	 小型携帯用、PCA機能付き(電池作動) 本体の設定・変更には経験が必要なこと、コスト面の問題があるため、在宅部門へ事前に要確認。 在宅使用する場合は在宅事業所側でレンタル。	(本体) ME室 (カセット) SPD
クーデックシリンジェクター (薬液が取り出せない構造)	 小型、PCA機能付き、ディスプレイ有 PCA量は固定(1ml/回、ロックアウト15分) ディスプレイ製品のため割高であるが、 単回使用(転院担送時など)に適している。	SPD

最終的には患者・家族と周りの医療スタッフで
共通の認識となるよう話し合いを進めていきましょう

